正解…
正解…
これも正解…
まさか
本当に…
流石としか
言いようが
ありませんね
全問正解
まぁ当然だよね
執事
ヴォルフ
マーシャル家 長男
レオ・マーシャル
じゃあまた
ご褒美ゲットだ
いつもの
ですか…？
もちろん
ほら早く～
ぴょん
ぴょん
はい
よろしく

俺がこんな子供の命令を素直に聞いてしまうのも それなりの恩があるからで…
遡ること7年ほど前…
元々スラムで盗みをしながら生きていた俺は
ある時ヘマをしてボコボコにされてその辺に捨てられた
その時だった…
坊ちゃんが俺を見つけてくれたのは
つまり命の恩人ってワケ
それ以来坊ちゃんの屋敷で働くことになったんだ
仕事も住居もあって給料もでるし…
まぁ
恩を返したいってのもちょっとだけあったかな

そして
3年くらい前
坊ちゃんが
森で迷子になって
使用人全員駆り出されて
大捜索をしたことがあった
やっと恩を返す
タイミングが来た!!
と思った俺は
張り切って
捜索したワケ
結果として、
奥地の木の洞で
坊ちゃんを無事発見
俺も恩を返せて
一安心…
と思ったんだけど
それ以来
妙に懐かれて
あれよあれよと
坊ちゃんの世話役に
まぁ給料も
上がるし…
傍で恩を
返せるわけだし
別にいいかと
思ってたけど…

そ、そう…
足掴んで…!!
じゅぽ
じゅぽって…
ヴォルフの口…
おっきいよぉ…
も、もう…
出ちゃうよぅ…
ヴォルフの
口の中にっ…!!
ぜ、全部っ…
全部飲んでっ!!
あぁ…っ!!
ちんちん
止まんないよぅ
じゅぽっ
じゅるっ
じゅるるっ
じゅぷっ
びゅっ
びゅるっ
びゅるるっ
びゅるるるっ
ぴゅっ
ぴゅるっ
ぴゅるるっ
ぴゅるるるっ

わぁ～
本当に飲んでる…
ゴクリ
坊ちゃんのやる気を出させるためにご褒美を設定したのにまさかこんなことになるとは…
満点取れたら何でも言うこと聞いてあげますよ
ぎゅう
むぐ
ねぇヴォルフ僕まだ…
はー
はー
いえ、駄目です仕事があるので
すん
少しでも断ってご褒美の悪化を防がないと…
えー!!
この後一緒に外で遊ぶ予定だったのに!!
キッ
それは坊ちゃんの予定でしょう
だっ
いいよ!! 僕がパパを説得するから!!
坊ちゃん!! パンツ!!

どうしたヴォルフ
仕事を休みたいらしいじゃないか
レオから聞いたぞ
レオのパパ
旦那様申し訳ありません
かくかくしかじかでして…
はっはっは!!なるほどな!!
またレオのわがままか!!
もちろん仕事に戻りますので…
いや、いいんだお前が良ければレオに付き合ってやってくれ
お前が傍に付いてからレオの素行もよくなってな
評判も良いんだ
ご褒美上げてるからだろうな…
まぁ家ではこの通りまだまだわがままな息子だが…
これからもよろしく頼む
いえ、こちらこそ旦那様方に頂いた恩を返しているだけです
レオ様のことはこのヴォルフにお任せください
情けないことだが私も仕事ばかりでレオとの距離を測りかねることもある
間にお前がいることで非常に助かっているんだ

と言ったものの…
二人っきりになると
ご褒美ばかり
せがんできて…
ヴォルフっ…!!
もっと
奥舐めて…!!
もう射精る
からっ…!!
は…っ!!
あっ
あふっ…
ヴォルフ…
ちんちん
止まんないよぉ～…

あっ
すごっ…
ちょ…直接触って…
今、先っぽ敏感だからっ…!!
やんっ
やっ
あっ…
ヴォルフの手…
やんっ…!!
すごい気持ちいいよぉ～…
ぼたっぼたたっ
ねぇ…ヴォルフ…
ちゅ…ちゅうしてよ…
それは駄目と言ったでしょう
ええ～いいじゃん別にご褒美でしょ？

さっきパパに僕の事任せてって言ってくれたじゃん
聞いてたんですか…
僕に恩があるなら聞いてくれてもいいんじゃないの？
ねぇヴォル
ぼんっ
おぐっ
ぱぉっ
ぶぐっうっ
じゅぶっ
じゅるっ
ぢゅるるっ
うっうっうぶっ
ずんっ
ぱたっ
ばたっ

んっむっんっ
もう十分ですか？
坊ちゃん
びんっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶっ
ぶーー!!
ふごっ!!
ぶちゅ
はー
はっ
はっはっ
はっ
ふぅ
びんっ

寝たか…
今日も朝から元気いっぱいだったな
色んな意味で
はー
それにしても…
このご褒美の流れは私にも坊ちゃんにもよくないな…
旦那様に豪語した手前しっかりしなければ…

夜
坊ちゃん…
私を呼んだのは
まさか…
そ、我慢できなく
なっちゃってさ～
お・ね・が・い
だめです!!
ぱた
ぱた
え～
パパに僕の事
任せろって
言ってたじゃん
こういう
ことでは
ありません!!
私は坊ちゃんが
正しく健やかに
成長できるように
お手伝いすると
いったのです
めっ!!
このような
ご褒美も
今日で終わり!!
今後は
控えてください
でもさ…
こういうデリケートな
感情ってどう整理すれば
いいかわからなくて…
頼りになる人が
ヴォルフしか
いないしさ…
坊ちゃん…
頼って頂けるのは
光栄なことですが…
やはりですね…

坊ちゃん…!!
騙された～
嫌だって言うなら
もちろん止めるよ
でも頼りに
してるのは
本当だよ
それだけは
信じて
ちゅう
これで最後ですよ
明日も早いんですから
ぎゅう
わーい
流石ヴォルフ
頼りになるなぁ

で、何？
おくち？
口でしてくれるの？
だめです
坊ちゃん、私に
全部飲ませようと
するでしょ？
ほら
お尻出してください
はーい
ほんと
こういう時は
素直なんですから
ぱかー
しっ
だってヴォルフ
上手いもん
旦那様に顔向け
出来ないですよ…
ぴしゃ
いいじゃん別に!!
減るもんじゃなし!!
ぴしゃっ
それにさ、別に…
ご褒美じゃなくて
いいんだよ？
ヴォルフのさ…
僕もお返しに
触ってあげようか？
びくっ
じゅるっ
ひゃんっ!!
にゅぷっ

大人を誑かそうなんて早いですよ
ヴォルフの指…太いっ…!!
裏側ごりごりって…
ちょっと急に…
押し出されてっ
射精るっ!!

はふ
じゅる
ぢゅっ
ちゅ
ちゅっ
じゅる
びっ
ぐぷっ
ぐぽっ
ずるる～
びゅる
びゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぽす
はふー

僕もお返しに触ってあげようか？
かちゃ
かちゃ
ギシ
ぶるん

ギッ
はっ
ずぶっ
ぐちっ
ギッ
ベロンっ
はっ
はっ
ズリュ
ズリュ
ズリュ
何やってんだ俺は…

おはようございますヴォルフさん
おはようございます
おはよう
おはようございます
はぁ…
坊ちゃんに会うのが気まずいな…
なぜ俺は昨晩あんなことを…
旦那様に顔向けできん…!!
いや…
なぜも何も全て坊ちゃんが悪いじゃないか…
あんな姿で求められては流石の俺も反応してしまう…
それに今は思春期特有の昂ぶりを融通の利く俺に吐き出しているだけ…
己を強く持て…
ヴォルフ
はっ…
坊ちゃん
はっじゃないよ
朝ごはんの後はお勉強でしょ？
もう
何をもたもたしてんのさ
ほら、早く行こ

まさか全教科満点とは…
苦手な数学まで…
すごいでしょ？
きっ
最近パパがさ勉強頑張ってるねって褒めてくれたんだ
それで張り切っちゃった
坊ちゃん…!!
全部面倒見てくれてるヴォルフのおかげだよ
ありがとね
純粋な気持ちで勉強も頑張っている坊ちゃんに…
俺はなんてことを…
罪悪感のしっ
でさ～…ひとつお願いなんだけど
ご褒美はもう…!!
大丈夫大丈夫ご褒美じゃないからそれに…ヴォルフに拒否権あると思ってるの？
僕が寝てる間に…
あんなことしたのに…？

坊ちゃん…!!
ほら壁によっかかってさ
一体何を…
何でもいいでしょ？ヴォルフに拒否権無いんだからさ
それとも昨日の夜の事パパに言いつけられたいの？
ぐっ…
やはり起きてられてたんですね…
そりゃあヴォルフのでかい図体で跨られてさ…
ベタついた液体を顔にぶっかけられたら誰でも起きるっての
ほら、観念してさ
ぼっ…坊ちゃん…!
なで
なで
ほら、よしよし怖くないよ～
すり
すり
わ～…熱くなってきた
やめっ…駄目です坊ちゃん!!
かぷ
窮屈そうだから出してあげるね

ぶんっ
わふっ
おわ～…
どうやってズボンに収まってたの…？
…くっ
旦那様…!!
申し訳ありません…!!
んぁ
まぁまぁ深く考えないでこれは僕からのお礼ってことで
僕も初めてだからある程度は覚悟してよね

って言うかこれ…
口に入るかな…
はふ
はふ
ああ、そんな…
もご
もご
はっ
はっ
坊ちゃんが私のを…
そんな奥まで…!!
あ…!!
びくっ
にゅぷっ
あぁ…
にゅぐぐ…
ふー
ふー
っていうか
これが初めてって…
本当か…!?
小さな口いっぱいに
吸い付いて…
じゅぷ
にゅぷ
筋の裏側を
こそぎ落とす
ような舌使い…
びくっ
ずるぅ〜
にゅぷ
何分も我慢
できんぞ…!!

はぱっ
ん
ぱっ
痛くない？
大丈夫？
そ、それは…
大丈夫ですが…
やはり
こんなことは…
私は坊ちゃんの
健やかな成長を…
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あうっ!!
僕が寝てる間に精液を
顔にぶっかけるなんて
僕をそういう目で
見てたってことでしょ？
にゅる
にゅる
僕にキスしてる間も
お尻を触ってる間も
僕の中に
精液をたっぷり
注ぎ込みたい…
なんて
思ってたんじゃ
ないの？
そ、そんな
わけ…!!
先っぽ弱いんでしょ
もうわかっちゃったよ
ちんちんこんなにして
説得力あるの？
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぼ、坊ちゃん…
裏スジを…
うあっ!!
ぬぽっ
びくっ
にゅぽ
にゅぽ
びくんっ
先っちょぱくぱく
してきたよ
穴の中も
舐めてあげる

喉奥で締まって…
玉まで転がされて…
坊ちゃんの口から
逃げられない…!!
にゅぶ
じゅぶっ
ぐぷっ
そんな一生懸命に
されたら…!!
すぐにっ…
ぼっ…
坊ちゃん…!!
がぽ
ぐぽっ
おぐっ
おっ
はぐっ
口の中に…
申し訳
ありません…!!
あー疲れた
はへー
へ…?
ごめんね射精させて
上げられなくて…
僕初めてだし…
ヴォルフの大きいし…
うぅ…
いや…
その…
…?
まさかもっと
してほしかった?
そ、そういう
わけじゃ…
やっぱり…
まだ練習が
必要かなぁ
ねぇヴォルフ…
夜にまた…
続きしてもいい…?

坊ちゃんに寸止めされてから…
収まらん…!!
夜にまた練習するんだからそれまで自分でしちゃ駄目だよ
また口でして欲しかったら夜まで我慢しろってことか…
まったく…坊ちゃんのペースだなこれじゃ…
この後も何をしてくるかわからんからな…
なるべく坊ちゃんから離れて…
ヴォルフさん
坊ちゃんが呼んでますよ至急来て欲しいだそうです
ひく
お風呂まで
わーい
さ!!ヴォルフ!!
僕が背中を流してあげる!!

なぜ私がお風呂の世話を…
いつもメイドの方がやっていたのでは
話聞いてた？
僕がヴォルフの背中を流してあげるんだよ!!
これも僕からのお礼だよ!!
ぱ
いつも面倒見てくれてありがとうって気持ちのさ!!
なんで前隠してるの…？
もじ
いやこれは…
もじ
あーあ…
断られると口軽くなっちゃうかもなぁ…
はぁ
どっ…
ひゃあ～…
僕の言いつけ守ってんじゃん
そうだよね僕が夜に練習するんだからね
まぁ、これはこれでとりあえず背中流すから座って後ろ向いて

よいしょー!!
ごし
ごし
ごし
ごし
もう!!
ヴォルフの
背中デカすぎ!!
床掃除用の
ブラシ
持ってこようかな!!
すいません
今のところ何も
無さそうだな
早くこれを
鎮めないと…
坊ちゃんに
いたずら
される前に…

ヴォルフの体って
泡立ち凄いんだね
坊ちゃん…
何を…
手じゃ広すぎるから
全身使って洗ってんの
僕自身も洗えて
一石二鳥じゃん
尻尾も
足で洗ってあげる
ずり
ずり
ずり
わし
わし

ヴォルフの体…
熱いねぇ…
ぐり
ぐり
石鹸で
ヌルヌルで…
体毛で
ざわざわで…
気持ちいい…
はっ
ぷっ
はっ
ぬる
ぬる
ぴ
止めて
ください…!!
え～…
まぁいいよ
背中は洗い
終わったし
もぎゅ
ちょ、
ちょっと!!
何って…
次は正面
洗うでしょうに
すり
坊ちゃん…?
一体何を…
ひょい
よっと

正面もでっかいことでっかいこと…
ふふっ…
ヴォルフも気持ちいい…？
くっ…内ももを…
ぴっ
はっ
はっ
はっ
ぐじゅ
ぐじゅ
ぐじゅ
ぼた
ぼた

新しい発見～
乳首の周りは毛が短いね
だから何ですか…!!
別に～足も洗ってあげるね
こんなの生殺しだ…!!
本当にヴォルフの体って…
泡立ちが良くて…
最高…に…
あんっ
ぴっ
はっ
はっ
はっ
ぐりぐり
ぐりぐり
すりすり
にゅる
ぐにゃ

びくっ
ぶるぶる
おっ
おっ
びゅっ
びゅるっ
ぐるっ

待て
…だよ
ヴォルフ

駄目って
言ったよね…？

よく我慢できたね
ヴォルフ
ガちゃ
僕の言う事をしっかり守れたんだ
えらいよ
とっても…
でも…
ヴォルフがこういうのは最後にしようって言ってたし…
やっぱりやめとおいた方が…
ガちゃ
ガちゃ
それは…謝りますから…!!
もう限界で…
ふふ
わかったよ
こっちおいで

れろ
れろ
ぴゅっ！
ずろぉ～
もみ
もみ
ちゅっ
ちゅっ
すり
すり

くはぁ…
何で我慢してんの
射精したいんじゃないの？
いや、それはそうなんですが…
あ～まさか…
我慢を重ねて…貯めに貯めた…
ドロッドロの真っ白の精子を僕の中に注ぎ込みたいんだ
チャンス上げるよ
僕のおしゃぶりに耐えられたらセックスしたげる
いっ…!!
かぷ
びっ

じゅぷぷ
ぢゅるるる
お…
おお、お…
ぢゅぷ
じゅぷ
はっ
ほっ
こ、こんなの…
耐えられるわけ…っ!!
じゅぷっ
ぐぽっ
じゅる
かぽっ
坊ちゃん…すいません…!!
せめて口の中に…!!
全部っ!!
がし
んも?

ふぐっ!!
ぐぐぐ
坊ちゃんの喉奥…
すご…
んぐむーっ!!
ばた ばた
ぎゅうぎゅうで…
締め付けが
気持ちいいです…!!
がぽっ
んぐっ
おぐっ
おっ
あぐっ
ぐぽっ
はぁ…!!
もう射精ますっ!!
ずっと貯めてた分
全部ッ!!
坊ちゃんの中に…!!
ぐぐっ
ん…!!
むぐーっ!!

ご
ぽっ
どぷっ
どぽぽぽ
ごくっ
ごくっ
ぐいっ
うぉ…
あぁ…
引き抜くと…
尿道に残った
精液まで…!!
ふーっ
ふーっ
ごぽぽっ
ぐぽっ
むぢゅぅーー!!
おお～…
射精も…
腰も…
止まらない…
びゅるるっ
びゅぶぶっ
がぽっ

はぁ…
坊ちゃん最高でした
ドぽっ
はーい
だっ…
出しすぎっ…!!
喉奥苦しいよ
ヴォルフ…!!
ええー
す、すいません・
つい興奮して…
まだガッチガチじゃん
どんだけ僕と
やりたいのさ
どに
しょうがない
にゃあ
まずは入念に
準備よろしくね

ぐちゅっ
ずるっ
ぐぢゅっ
ずるっ
びくっ
びくっ
坊ちゃん…
流石にこれは…
丹念にお尻
舐めといて
何言ってんの…
ヴォルフが
僕のお尻を沢山
弄ってたのも
本当は
こうしたいから
だったんでしょ？
そ、そんなこと…
で、でも…
先っぽしか…
ぐぅっ
びくっ
やっぱり…
ちょっと
きついかも…

ふぅ…
ふぅ…
どちゅっ
は…
は…
な…!?
なんで…!!

お腹の中…
ギチギチに
詰まって…!!
んぁっ
んぐっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
お手伝いしようかと
思いまして…
大丈夫ですか?
だ、だいじょ…
なわけっ…!!
ふるふる…
がくがく
それじゃあ
遠慮なく…
あっ!!
あんっ!!
ゆさゆさだめっ!!
ゆさっ
ゆさっ

もう動いちゃだめだからね…
ああっ…
あんっ
ぷしゅっ
ぷるぷる
ぴっ
ぴっ
ずるっ
ぽむっ
これは僕からのご褒美なんだから
滅茶苦茶狭くて…!!
ぎゅっ
ぎゅっ
がくがく
ぴっ
ぴっ
ずるっ
熱湯の中に入れられてるみたいな熱さだ…!!
僕がしてあげるんだからね
なのに全部飲みこんで…
ふーふー
どろどろでヌルヌルで…
これが坊ちゃんの中…!!

しかも…
この光景…
気が
狂いそうだ…
びゅるっ
あっでる
でちゃう…!!
びゅっ
ぱちゅっ
どろっ
ほら
ヴォルフ
雇い主の…
パパの…
息子の中に
射精したいんでしょ？
はっ
はっ
ちゅぱ…
うっんっ
びくっ
ほらほら!!
射精
しちゃえって!!
我慢しないでさ
僕の中に全部
出しちゃいなよ
そうすれば
嫌でも
わかるでしょ？
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ふーっ
ふーっ

ヴォルフが…
僕の物だってさ
ヴォルフの命は
僕が救ったんだよ
だからヴォルフは
僕の物なのに
ぢゅう
それをわかって
ないようだから
ヴォルフの体に
教え込んでるんだよ
ご褒美っていう
甘〜い蜜をさ
はが
ぺろっ
ご褒美を
欲しくなって
沢山射精して…
僕から離れられなく
なるでしょ？
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぺろっ
そしたら
僕を見るたびに
自分の匂いが
沁みついた
僕を嗅ぐたびに…

んふふ～
余裕ない～って顔してるよ
ほら腰掴んでいいから出しちゃいなよ
僕の中に沢山射精して!!
僕を忘れられないようにさ!!
ぼ、坊ちゃん…私は…
はっ
はっ
ずぷぷっ
ぐりっ
ぐりっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
びくっ
おっ!!
びゅるるる
おうぶ

はぁ…
どんだけ出す…の…
でも、これでわかったでしょ？
僕のご褒美が欲しかったら…
僕の言うことを…
んいっ!!
ヴォルフ…!!
なに勝手に…!!

へ…？
ちょっ
ストッ…
飽くまでも…
僕主体で…
ぐ
い
の
あっ!!
だから…
ヴォルフ
やめてって…

ヴォ…
ヴォルフ…？
なにして…
いつっ!!

ほれ
足開け
ぐぃ
ひっ…
何って…
ご褒美
くれんだろ？
ぐぐっ
ぺし
おっ!!
まって…!!
ヴォル
ぐぐっ
ぼんっ
うぉっ!!!
今日は散々
振り回されたからな
後は俺の自由に
させてもらうぜ
ぼんっぼんっ
ひくっ
おっ

なんだ？
まだ強がる
余裕があるのか？
ヴォ…
ヴォルフ…
やめっ…
はーはー
ぺろっ
ずるっ
ほらよ
何言ってるか
わからかねえぞ
しっかり喋れ!!
ぶるっ
どぢゅっ
ぉ…
ずっ
ぼんっ
ひゃめ…
おおっ
びくっ
どぢゅっ

ほらしっかりしろ
満足そうな顔しやがって
だろうと思ったぜ
ぴちゃ
はふ
はふ
ぴちゃ
そっくり返してやるよ
坊ちゃん
ずっと余裕ぶって…
上から俺を焦らし続けてたけど…
か
あ
本当はこうやって無理矢理襲われたかったんだろ?
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ほら、証拠によ
自分で腰振ってた時より締め付けてくるけどなぁ
そ、そんな…
違…
ぁんっ!!

ほら、認めちまえよ!!
ぐいっ
はっ…!
大きな獣人に
抵抗できないように
押さえつけられて!!
ぐぷぷっ
おー!!
ぺろを
ぱんっ
犯されたかったんだろ!?
こうやって無理矢理!!
どぷ
どぷ!!
深い
おぉ!!
食べられてるみたいに!!
ぱんっ

がく
ぐちゅっ
ぐぼっ
ぐぼっ
がく
ぐぼっ
ぐぼっ

だっ、だしすぎ…
びくっ
ぞくぞくっ
びゅるるっ
びゅーっ
どぼっ

ぷぴっ

ずっ
ずっ
はー
はー
ずずず
あっ!!
ぐいっ
おいおい坊ちゃん
どこ行く気だ？
教えて
くれるんだろ？
やなっ
ぐいっ
ぐんっ
ひっ!!
俺が坊ちゃんの
物だってさ

ほら観念しろ
のしっ
ぐいっ
や、やだぁ!!
もう中に
出さないで!!
まだまだ
足りねえだろ?
にゅぐっ
や、やだっ…
あっ
お、入る…
お、おおっ…
ぐぷっ
ぐぷぷっ
にゅこっ
にゅこっ
にゅこっ
ぐぐっ
ふーっ
ふーっ
はへ
はへ
おいおい
自分から尻
上げてんじゃねえか
とんだ
エロガキだな

どすっ
どすっ
どすっ
ふっ
ふっ
びくっ
びくっ
あっ!!
うぁ
ふ深いっ!!!
どろっ
どろっ
ぐぽっ
ぐぽっ
さっきまでの威勢は
すっかり
無くなっちまったし
今度は俺が
教えてやらないと
いけねえようだな!!
ごろっ
どろっ
ぐぽっ
ぴっ
おっ
あっ

坊ちゃんは…
俺の物だってな
ろぉ
ほら、顔向けて
口開けろ
ぐいっ
俺が上からも
下からも
はっ
にゅぐっ
にゅるっ
はっ
たっぷり
マーキングして
体に教え込んでやるよ
ずるっ
ぶっ
ずるっ
ぶっ
そうすれば
俺を見るたびに
犯して欲しくて
たまらなくなるだろ？
ぐぶっ
じゅぶっ
ぐぶっ
本当いい家に
拾ってもらえたよ
金も仕事も
手に入って
俺の言いなりの
おもちゃも
手に入ったしな
ふっ
ふっ

ほら!!
言え!!
俺の物に
なるってな!!
またこうやって
犯してほしいんだろ!!
レオ!!

なるっ…
ぐぷっ
ずっ
僕の…
お尻も…
ちんちんも…
全部…!!
ヴォルフの物に…
ぶちゅうう

いや～…
出した出した
坊ちゃんも
これに懲りたら…
ぐすっ
ひくっ
ぼ、坊ちゃん…
すいません
ちょっと
やりすぎました
でも、こうやって
大人をからかうと…
ドッ

ぼ、坊ちゃん…!?
また騙された～

これがパパに見つかったらどうなるんだろうね
まさか…

まだわからないの？

いたいな～
あーあー
もう乱暴にしてくれちゃって…
手のあざも…
首の歯形も…
お尻も痛いなぁ…

ヴォルフったら…
自分から外堀埋めちゃうんだもん

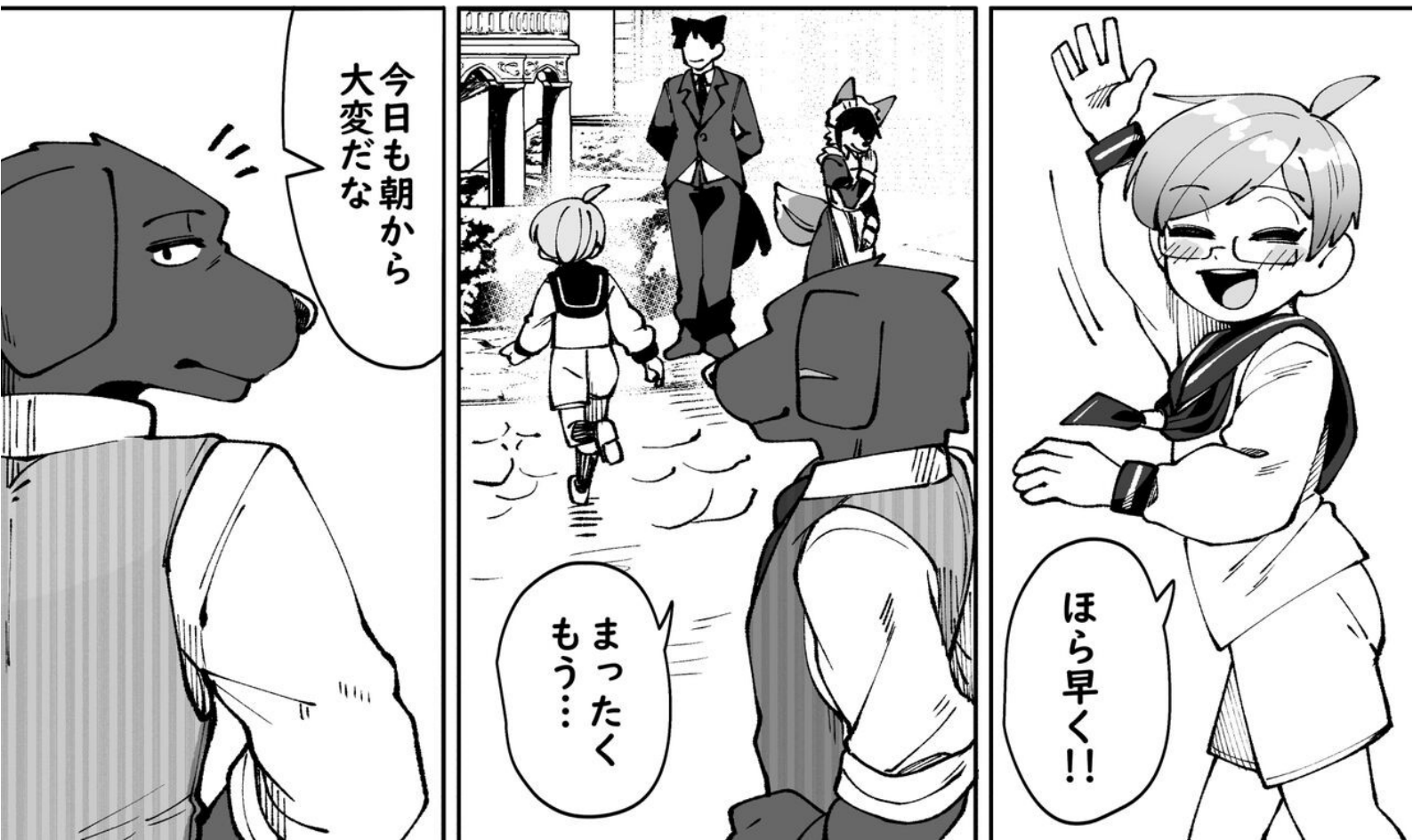
この襲われた跡をパパに見られたくなかったら
絶対服従
言ったでしょ
ヴォルフは僕のモノだって
あーあ反抗的な目しちゃって
跡が消えたら何とでもなるって思ってない？
無理だよねぇ僕の体見ただけでそんなになってんだもん
ビキッ
ドキッ

だからもし
傷が治っても
また焦らして
襲わせるだけだよ
だ…
だったら…!!
ぎり
ぴっ
にゅるっ
ぴんっ
にゅぐっ
うっ
ふっ
生意気な事
言えなくなるまで!!
ぴっ
徹底的に体に
教え込んでやるよ!!

まて
おすわり
すとん。
ハイ
よくできました
えらい
えらい
なで
なで
・・・・?
これが「しつけ」
ヴォルフの体は
僕に服従したい
がってるんだよ
ぶん
まずは
お仕置きだね
僕が許可
するまで
射精禁止
ぐちゃ
ぐちゃ
ぼ、坊ちゃ・
はっ
はっ
絶対服従〜
ぶん

坊ちゃんの方が
1枚上手だったとは…
何とかしないと…
のくっ
わふっ
びくっ
がく
がく
なに～？
僕のお尻見て
また射精したく
なっちゃった？
びゅうっ
びくんっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あっ!!
坊ちゃん!!
今射精した
ばかり…!!
お仕置きは～…
とりあえず
保留で
第2回戦ね
おしまい

ヴォルフ早く!!
今日は外行くよ!!
坊ちゃん!!
この後は勉強の時間ですよ!!


ほら早く!!
まったくもう…
今日も朝から大変だな

だ、旦那様!!
なんだ大声出して
あ、いや
申し訳ありません…
こってり
絞られてる
みたいだな
まぁ…
元気なのは
いいことですので…
ですが…
そうですねぇ…
坊ちゃんには
これからも
こってりたっぷり…
搾られることに
なりそうです